

知っていますか、歯周病のこと

歯を失う原因となる歯周病。その予防のためには、まずどんな病気なのかを知ることが大切です。しっかりと予防して、いつまでも自分の歯を健康に保ち、健やかな生活を送りましょう。

歯周病の原因は？

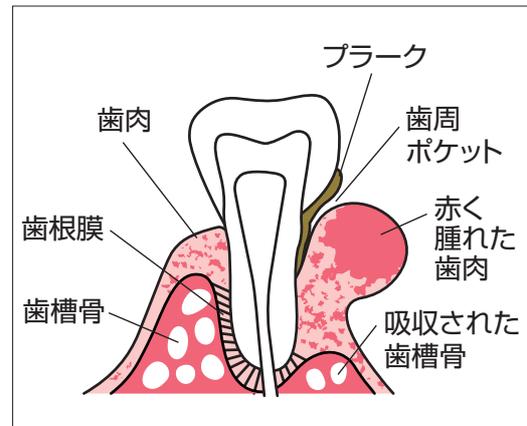
歯周病は、プラーク（歯こう）がたまることから始まります。プラークは、食べ物の中の糖分と、口の中に存在する細菌によってできます。プラークの70%は細菌で、プラーク1ミリグラム当たり約300種、1億個以上の細菌が存在するといわれています。

歯周病が進行すると歯周ポケットが生じ、さらにプラーク量が増えると症状も強くなっていきます。（下図参照）

歯周病ってどんな病気

歯周病は、歯を支える周りの組織に起こる病気です。歯の周りには、歯を支えるさまざまな組織（歯肉、歯根膜、セメント質、歯槽骨）があり、この部分が細菌に感染し、炎症と破壊が繰り返されることで起こります。

また、進行するにつれて歯の周りだけでなく、さまざまな全身疾患の要因



にもなります。糖尿病の悪化、心筋梗塞や脳梗塞などの血管疾患、女性の場合は、低体重児出産などにも影響を与えていることが明らかになってきました。

こんな症状は歯周病の兆候です

○朝起きたとき、口の中がねばねばしたり変な味がする



いつまでも健康な歯を

- 歯をみがく時、歯ぐきから血が出る
- 歯ぐきが赤く腫れたり痛むことがある
- むし歯が無いのに、冷たいものが歯にしみて痛い
- 口臭があり、口が臭いと言われたことがある
- 歯と歯の間によく食べ物がはさまる
- 歯がぐらぐら動く感じがある

一人平均の現在歯数は、20歳で29本、30歳で28本、40歳で27本と、ほぼ10年で1本ずつ減っていきます。ところが、50歳で25本、60歳で21本、70歳で15本となり、40歳を境にして急速に自分の歯が失われてしまいます。（下表参照）歯周病の予防や早期発見のため、検診を受けましょう。

●問合先 健康増進課

可児市歯周病検診

歯周病を早期発見するために、市は歯周病検診を実施します。対象年齢は平成19年4月1日現在で40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳です。個人負担金は500円ですが、生活保護法による被保護世帯に属する人や老人保健法医療受給者証をお持ちの人は無料です。詳しくは、健康増進課まで問い合わせてください。

